



凡 例

流速(m/s)

0

0 ～ 0.2

0.2 ～ 0.5

0.5 ～ 0.7

0.7 ～ 1

1 ～ 2

2 ～ 3.5

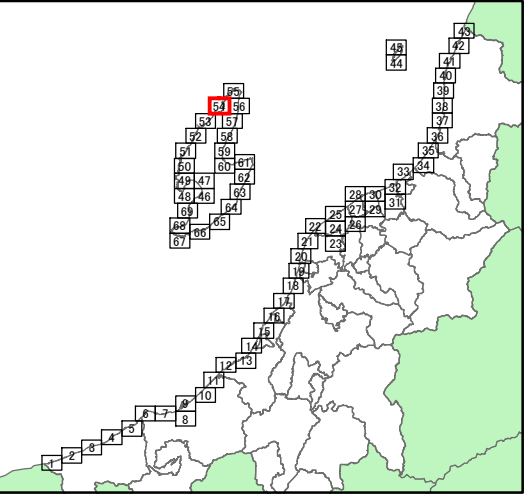
3.5 ～

※初期水位から水位が20cm上昇した時、また浸水深が20cm以上になった以降に生じた最大の流速

※1地震の規模や波源の位置が想定と異なる場合や、想定と同じであっても、実際に浸水する範囲は、この浸水想定範囲と異なる場合があります。
また、津波浸水予測計算は、10m格子(1マス)で行っているため、予測される津波到達時間や浸水範囲が、実際の位置と異なる場合があります。

※2この津波浸水想定図は、想定した地震による地盤の沈降を考慮して作成しています。

※3津波浸水予測計算を行うにあたって使用した地形データには、航空レーザー測量データ(平成21～23年、国土交通省発行)と10mメッシュ標高データ(平成21年、国土地理院発行)の2種類のデータを用いています。
また、予測計算に用いた地形データの測量時期と背景に用いた地形図の測量時期が異なるため、表示に若干のずれが生じている場合があります。



新潟県津波浸水想定図（最大流速）

(54/69)

想定波源: ⑥高田平野西縁断層帯
計算条件: 海岸堤防、河川堤防なし



凡 例

流速 (m/s)

0

0 ~ 0.2

0.2 ~ 0.5

0.5 ~ 0.7

0.7 ~ 1

1 ~ 2

2 ~ 3.5

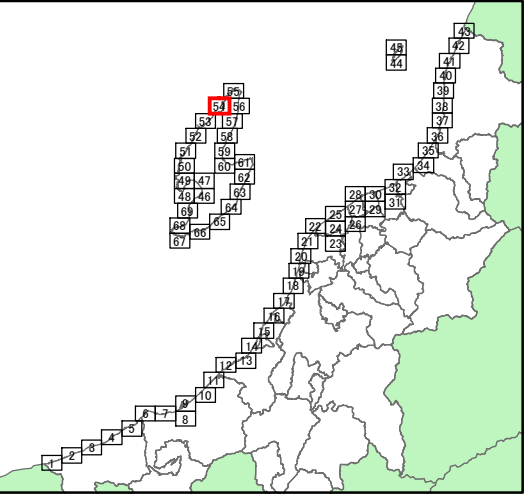
3.5 ~

※初期水位から水位が20cm上昇した時、また浸水深が20cm以上になった以降に生じた最大の流速

※1地震の規模や波源の位置が想定と異なる場合や、想定と同じであっても、実際に浸水する範囲は、この浸水想定範囲と異なる場合があります。
また、津波浸水予測計算は、10m格子(1マス)で行っているため、予測される津波到達時間や浸水範囲が、実際の位置と異なる場合があります。

※2この津波浸水想定図は、想定した地震による地盤の沈降を考慮して作成しています。

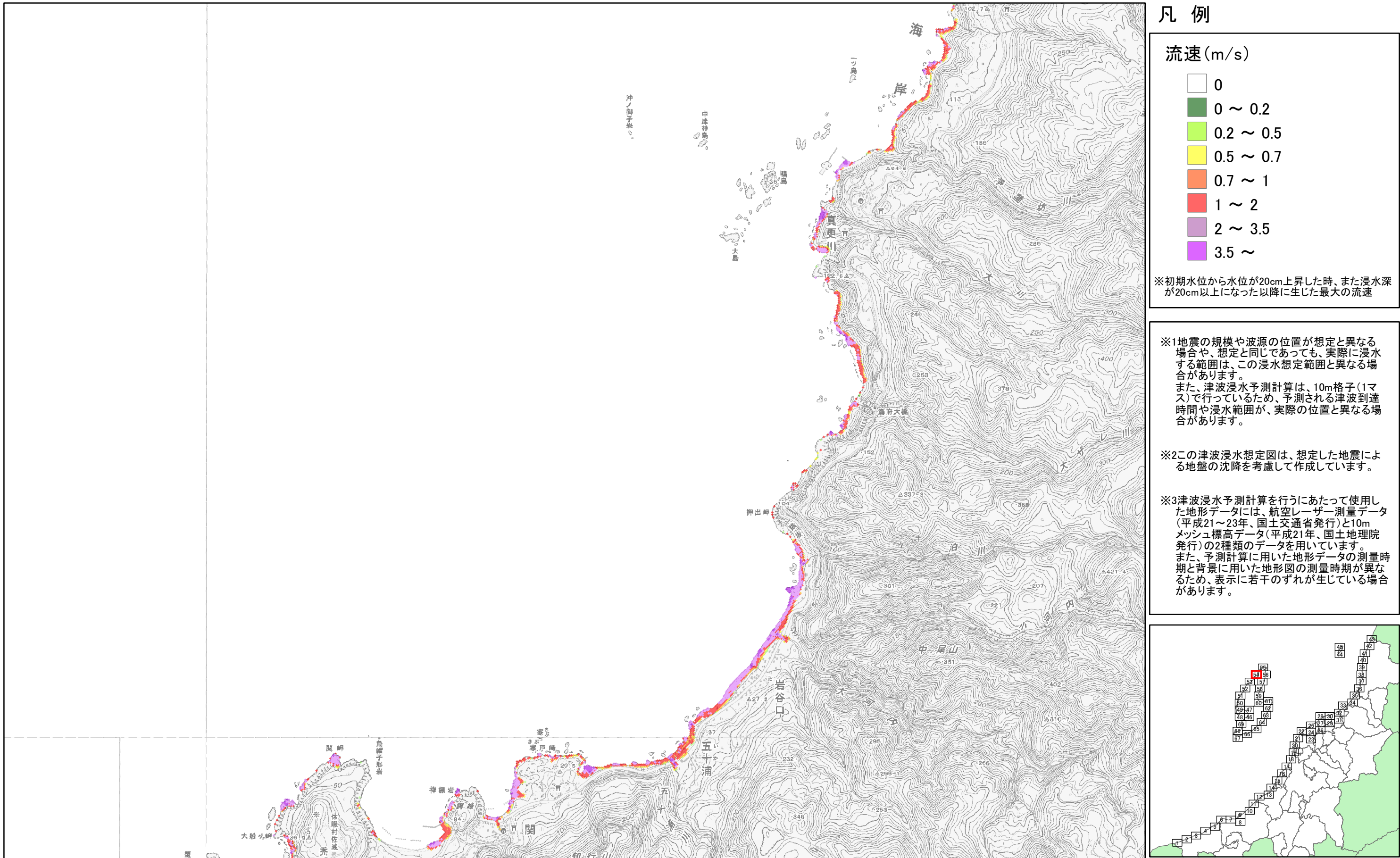
※3津波浸水予測計算を行うにあたって使用した地形データには、航空レーザー測量データ(平成21~23年、国土交通省発行)と10mメッシュ標高データ(平成21年、国土地理院発行)の2種類のデータを用いています。
また、予測計算に用いた地形データの測量時期と背景に用いた地形図の測量時期が異なるため、表示に若干のずれが生じている場合があります。



新潟県津波浸水想定図（最大流速）

(54/69)

想定波源: ⑦3連動同時発生
計算条件: 海岸堤防、河川堤防なし



凡 例

流速(m/s)

0

0 ~ 0.2

0.2 ~ 0.5

0.5 ~ 0.7

0.7 ~ 1

1 ~ 2

2 ~ 3.5

3.5 ~

※初期水位から水位が20cm上昇した時、また浸水深が20cm以上になった以降に生じた最大の流速

※1地震の規模や波源の位置が想定と異なる場合や、想定と同じであっても、実際に浸水する範囲は、この浸水想定範囲と異なる場合があります。
また、津波浸水予測計算は、10m格子(1マス)で行っているため、予測される津波到達時間や浸水範囲が、実際の位置と異なる場合があります。

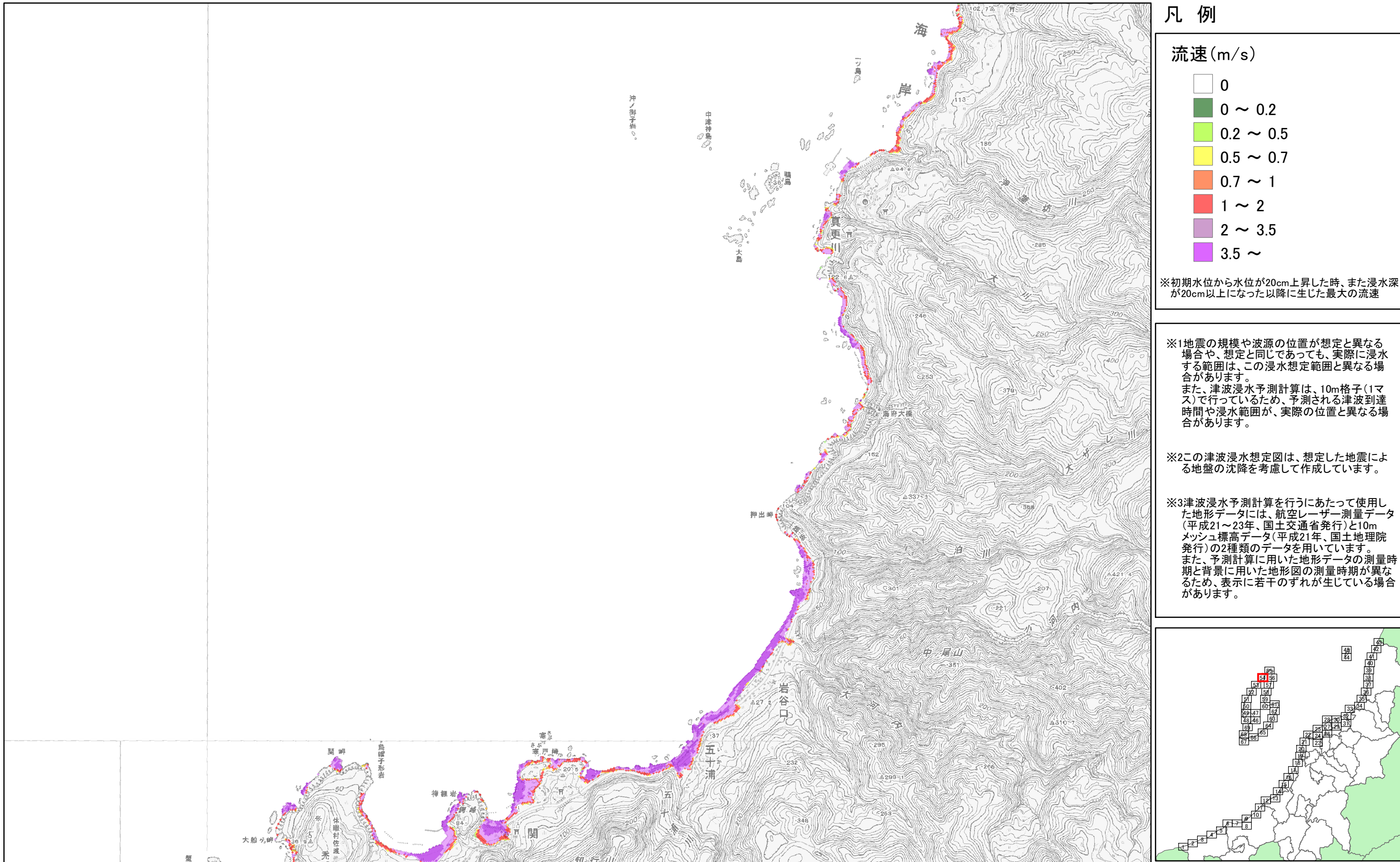
※2この津波浸水想定図は、想定した地震による地盤の沈降を考慮して作成しています。

※3津波浸水予測計算を行うにあたって使用した地形データには、航空レーザー測量データ(平成21~23年、国土交通省発行)と10mメッシュ標高データ(平成21年、国土地理院発行)の2種類のデータを用いています。
また、予測計算に用いた地形データの測量時期と背景に用いた地形図の測量時期が異なるため、表示に若干のずれが生じている場合があります。

新潟県津波浸水想定図（最大流速）

(54/69)

想定波源: ⑧3連動時間差発生
計算条件: 海岸堤防、河川堤防なし



凡 例

流速 (m/s)

0

0 ~ 0.2

0.2 ~ 0.5

0.5 ~ 0.7

0.7 ~ 1

1 ~ 2

2 ~ 3.5

3.5 ~

※初期水位から水位が20cm上昇した時、また浸水深が20cm以上になった以降に生じた最大の流速

※1地震の規模や波源の位置が想定と異なる場合や、想定と同じであっても、実際に浸水する範囲は、この浸水想定範囲と異なる場合があります。
また、津波浸水予測計算は、10m格子(1マス)で行っているため、予測される津波到達時間や浸水範囲が、実際の位置と異なる場合があります。

※2この津波浸水想定図は、想定した地震による地盤の沈降を考慮して作成しています。

※3津波浸水予測計算を行うにあたって使用した地形データには、航空レーザー測量データ(平成21～23年、国土交通省発行)と10mメッシュ標高データ(平成21年、国土地理院発行)の2種類のデータを用いています。
また、予測計算に用いた地形データの測量時期と背景に用いた地形図の測量時期が異なるため、表示に若干のずれが生じている場合があります。

